

ホタテガイ採苗速報

産卵は停滞気味

平成23年2月28日～3月7日に湾内7地点で養殖2年貝の母貝調査を、平成23年3月4日～7日に東湾の3地点で地まき貝の母貝調査を、平成23年2月28日～3月1日に久栗坂実験漁場および川内実験漁場で半成貝（平成22年産貝）の母貝調査をそれぞれ行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ母貝調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で23.3、東湾平均では26.3、全湾平均では25.0と、前回（西湾22.2、東湾25.5、全湾24.1）よりもやや増加しました（図1～3）。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は、東湾平均で19.7と、前回（17.7）よりも増加しました（図4）。各地の測定結果は表2のとおりです。

半成貝（平成22年産貝）の生殖巣指数は、久栗坂実験漁場で12.0と、平年（12.5）とほぼ同じ状況となっており、川内実験漁場では10.3でした（表3、図5）。

2 海況

3月1日～5日の陸奥湾の水温は平館ブイで7.1～7.9℃、青森ブイで4.4～4.7℃、東湾ブイで2.9～3.1℃で、平年と比べると、平館ブイの1m層および15m層でやや低め、30m層でかなり低め、底層で平年並み、青森ブイの全層でかなり低め、東湾ブイの全層でやや低めとなっています。

3 今後の見込み

今のところ卵質は良好ですが、水温が依然低めに推移しており、産卵の刺激となる急激な水温上昇が見られないことから、**産卵は全湾的に停滞気味です**。産卵の状況および採苗器投入時期については今後の情報を参考にしてください。

また、今年は母貝数が例年よりも少ないため、ラーバの出現数も少ないことが予想されますので、効率よく稚貝を確保するために採苗器を例年よりも多めに準備してください。

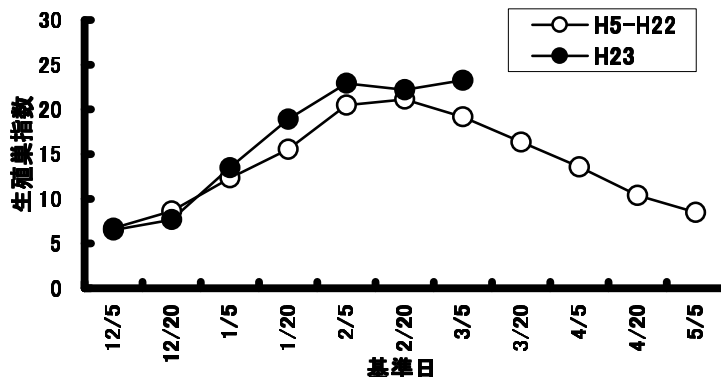


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(西湾平均)

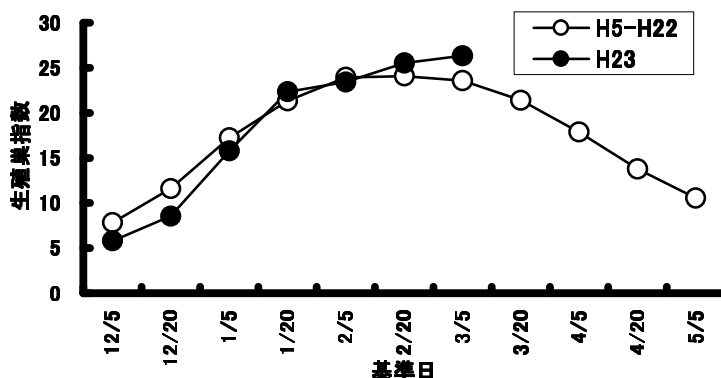


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(東湾平均)

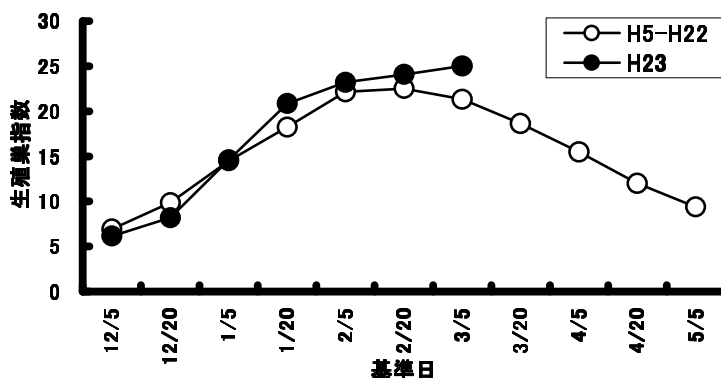


図3 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(全湾平均)

広がる海の知識!

身につける新たな技術!

漁業後継者育成研修 『賓陽塾』

塾生募集中!! 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで

発行元：地方独立行政法人

青森県産業技術センター 水産総合研究所

住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156

ホームページURL：http://www.aomori-itc.or.jp/

携帯電話URL：http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2224

